

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 糸ぐるま大泉教室		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年1月4日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員には分掌を設け責任をふんたんしている。 ・療育専門部会など研修を全員に行き届くよう工夫している点		さらに研修を充実させ、個別支援計画と研修あるいは実際の療育活動に反映できるよう改善を図りたい。
2	会計、集金、安全チェック、アセスメント、領域担当と記録の保存、	機能仮設と支援仮説を立て療育を構造的な解釈及び支援を試みている。	療育活動の専門性を深めるため、「療育の専門性」を高めることで質の向上を図ることをさらに推進していく。
3	完全の確保のために、様々な各トドからチェックすることや訓練などを通して深まってきた。	計画策定委員会による細かなチェック項目をあげ、丁寧に取り組むことで事故を未然に防ぐことに心掛けることができた。	次年度は、全事業所が合同で避難訓練をすることで実際の避難を想定した食事の炊き出し、救援・救護について学ぶとともに地域との連携を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外国人の居住する地域であることから文化の違いやコミュニケーションを図るためには多くの時間を要する。	ことばの習得がお互いに難しい。	ことばを身に付けることはかなり厳しくポルトガル語でのやりとりはほとんどできない。F
2	事業所予算には限度があるため、備品や教材を買いそろえることが難しい。	利用者の計画的利用を促すことで利用数が増え安定し収入も増加すると考えています。	利用者の安心、保護者の安全、療育の質の向上を常に意識し、研修を行うことで切れ目のない療育支援に取り組まなければならないと考えています。
3	日本人スタッフの思いとブラジル人スタッフの間に簡単には解決しそうでない習慣や文化の違いによりもたらされる生活習慣などどちらかが妥協している点があります。	8時始業の場合には、8時ちょうどに出勤するなど公私に一線を画している点の違いがある。	生活習慣の違いでは我慢することは多々あるが、一方でブラジル人の肝要さや明るさ、人の事をあまり気にしない点など彼らから学ぶ点も多々あり良さを見落とさないよう注意したい。残念ながら保護者が人本的生活習慣をしらないために、子どもと保護者の間にも文化や生活習慣の違いが生まれているように思われます。